織姫山の麓（ふもと）から

法玄寺報
第47号
令和4年秋
（2022年）

千灯供養を行いました

全国的に新型コロナウイルスのために中止されてきた行事が再開されるようになりました。足利でも3年ぶりに花火大会が実施されました。そこで当山でも、夏の施餓鬼大法要からこれまで通りに行事を行うことにしました。

そこで前回の寺報でもお伝えしたように、毎年10月の第一土曜日に行ってきた千灯供養も3年ぶりに行うことにしました。ただ百万遍修行については本堂内で行ううえ、密集して大きな数珠を回すので、今年は見送ることにして深井淳さんのバイオリンコンサートだけを行いました。

去る10月1日の土曜日、山門や本堂前それに一切精霊祭壇前を２００本以上の蓮ローソクや和灯でライトアップしました。3年ぶりなので何人集まるか心配していましたが檀家の方々をはじめ多くの方々が集まり、一切祭壇前に大きな輪をつくることができました。輪になった人たちでローソクを回した後、祭壇に何段にも配置したローソク台、それに祭壇前の六地蔵や水屋の周囲に配置したローソク台に点灯しました。

幸い風も少なく、すべてのローソクが点灯されると一切精霊祭壇の周囲がローソクの火により浮かび上がり、秋の夜に幻想的な風景が現れました。ローソクの炎が作り出す神聖で厳かな雰囲気に、集まった人たちはしばらく浸っていました。

参加者は輪になりローソクを回しました

施餓鬼大法要を通常通り行いました

今年は3年ぶりに、8月16日の送り盆に行う施餓鬼大法要を例年どおり一般の檀家の方々に本堂に上がっていただき行いました。また法要後には、世話人の方に卒塔婆を手渡していただきました。

過去2年間は新型コロナウイルスの感染防止のために、新盆の方々だけに上がっていただきました。しかし今年は席を離しマスク着用のうえで、一般の檀家の方々にも本堂に上がっていただきました。

法要後は、世話人の阿部隆宏さん、井ノ口欣明さん、林龍男さん、安田征司さんの4人が卒塔婆を手渡しました。この2年間は卒塔婆を本堂の外廊下に出して、秋のお彼岸までに建てるようにしてきたので、お施餓鬼の後も閑散としていました。今年は久しぶりに施餓鬼法要の後、送り盆らしく境内が賑わいました。

施餓鬼大法要の後、世話人の方々が卒塔婆を手渡ししました

深井淳さんのコンサート

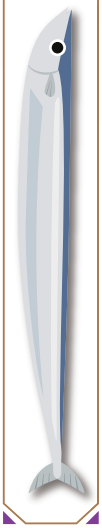
10月1日の千灯供養の後、本堂で深井淳さんのバイオリンコンサートを行いました。深井さんは作曲家で、みずから作曲した曲を演奏したアルバムを発表しています。本堂には約60脚のイスを用意したのですが、多くの人が集まり立ち見の方も出ました。

深井さんは本堂にバックミュージックを流す機器を設置し、それに合わせて最新のアルバムに収録された曲を演奏しました。ヒーリングサウンドのような、心が癒されるようなバイオリンの優しい音色に集まった人たちは魅了されていました。

最後には、11月に行う野点と落語の会に出演する足利出身で初めて真打になった三遊亭歌橘さんもサプライズで登場して、大いに会場を湧かせました。

本堂でバイオリンを演奏する深井淳さん

木の伐採



山の墓地の西側にあった樫の木が枯れかけました。数年前、山の墓地にあった大きな楢の木が、お盆直後に倒れました。枝を切り落とし下まで運ぶことが大変だったうえ、下敷きになった墓地が損傷してしまいました。そこで今回は、お盆前に切ることにして、入江林業に依頼しました。

何しろ木の下には墓地があり、切った枝を下に落とすわけにはいきません。「吊るし切り」という切った枝をロープに結び墓地のない場所に降ろす方法で切りました。お盆前に切り終わり、安心してお盆を迎えられました。

枯れた樫の木を切りました

ちびっこ集まれ 焚き火で焼き芋

毎年、秋から冬にかけて墓地には落ち葉がたくさん落ちます。業者に依頼して処分していますが、住職が子供の頃には落ち葉で焼き芋を作りました。今の子供たちは家でテレビを見たりゲームをするなど、外で遊ぶことが少なくなりました。そこで3年前の年末に、子供たちを集めて落ち葉で焼き芋を作り、七輪で餅を焼く会を境内で行いました。

この2年間は新型コロナウイルスのため、行うことができませんでした。しかし感染も落ち着き、様々な行事やイベントも行われるようになってきたので、今年は以下のように実施することにしました。小学生のお子様のいる檀家の方は、ぜひご参加ください。人数に限りがありますので、早めに電話でお申込みください。なお雨天の場合には、蒸かした芋を渡し、本堂の向拝で焼いたお餅を提供します。

■日時：12月11日（日）
　正午より
■場所：法玄寺境内
■申込：(0284)21-2790

3年前の焚き火で焼き芋を焼く会の様子

閻魔大祭と米粒名号

当山は「閻魔さま」として親しまれている井草町の利性院を兼務しています。
新型コロナウイルスも収まって来たので、来年は一般の信徒や
市民の方々をお堂に迎え入れて閻魔大祭を行います。
なお大祭に先立ち、小さな米粒に南無阿弥陀仏と筆で書く
米粒名号の実演を行い、お守りとして販売します。
皆さまぜひお越しください。

日時　**1月16日（月）**

5時　米粒名号の実演と販売
（小林育道上人）

6時　閻魔大祭場所

場所　**利性院（閻魔さま）**

連絡先　**法玄寺（0284）21-2790**